

多言語多文化研究に向けた複合型派遣プログラム  
派遣先機関等利用マニュアル

2011年5月26日

派遣者氏名（専門分野）	向 正樹 （ 東洋史 ）
-------------	--------------

派遣期間	2011年 2月 24日 ～ 2011年 4月 24日
------	-----------------------------

**派遣研究機関**

国	都市	訪問機関
フランス	パリ	パリ第四大学、フランス国立科学研究センター、フランス国立図書館

**利用マニュアル（利用申請に必要な書類、手続き、リサーチ方法を記入）**

○フランス国立図書館リシュリユー（Bibliothèque nationale de France, site Richelieu）

**1. 入館・利用申請**

現状では、ヴィヴィアン通りに面した守衛のいる入り口から入館することになっている（5 rue Vivienne）。その際、カバンの中身を見せ、セキュリティ・ゲート通過をもとめられる（リシュリユー館は現在改修中のため一部区画が利用不可能となっている）。

中庭にあるプレハブ内で利用申請手続きを行う。ロビーの椅子に座っていると順番に個室に呼ばれ、そこで必要書類（所属機関の派遣証明書、滞在先の居住証明書など）を提出し、質問に答え（身分・滞在期間、利用目的などについて、英語可）、デジタル・カメラで写真を撮られ、読者カードが作成される。あらかじめHP上で利用者情報を登録しておくとう手続きがスムーズと思われる。詳しくは下記ページを参照。

[http://www.bnf.fr/fr/collections\\_et\\_services/services\\_lecteurs/a.inscription\\_bibliotheque\\_recherche.html](http://www.bnf.fr/fr/collections_et_services/services_lecteurs/a.inscription_bibliotheque_recherche.html)

<http://accreditation.bnf.fr/jsp/preinscription.jsp>

**2. 写本室の利用方法**

2010年9月に西欧・東洋写本室が統合され、現在は写本室が正式名称とされるが、2011年4月までの時点では、依然として西欧写本室（1階オヴァール室 Salle ovale）・東洋写本室（地下1階）は別室となっている。写本室には、鉛筆（ボールペンは不可）・ノートPC・ノート以外は持ち込み不可のため、所持品を中庭のプレハブ内にあるクロークに預け、携帯品が入った透明なプラスチックケースのみをもって入室する。入室の際、カウンターの係員に読者カードを預けると、座席番号が書かれたプラスチック板が渡される。係員によっては希望する席を訊いてくる。室内での携帯電話使用は不可。

**3. 写本の閲覧**

入口のところにいる係員から備え付けの所定用紙をもらい、必要事項を記入して奥にいる写本担当の係員に渡すと、書庫から写本の原本やマイクロ・フィルムを取ってきてくれる。用紙には写本番号・著者・タイトル・書写年代・利用者の住所（本国）・電話番号・メールアドレスなどを記入する。なるべくマイクロでの閲覧を勧められ、オリジナルを見たい場合にはその理由を説明する（単に実物が見たい、検索のため、というのは認められない）。写本の書誌データはオンラインで調べることができる（後述6）。

#### 4. 写本の複写

マイクロ・フィルムからの複写が可能である。ただし、制限枚数がある（1日10枚まで）。写本担当の係員から所定用紙をもらい、写本番号・著者・タイトル・書写年代・利用者の住所（本国）・電話番号・メールアドレス・複写したいページを記入して渡し、複製許可をもらう。写本室の外に出て、館内の自販機でコピーカードを購入し、写本室内のプリンターに繋がっているマイクロ・リーダーで、備え付けのカウンターにカードを挿入するとプリントアウトできる。料金はA4モノクロで20枚以下は1枚0.46€である。ただし画質があまりよくないので、プリントアウトしてもよく字が見えないことが多い。

#### 5. 写本の電子画像化

1階オヴァール室の奥のカウンターの複製サービスの係員のところで所定の用紙をもらう。料金の振り込み方法などを指定したメールが届くので、指示にしたがって支払いを行う。メールの添付ファイルでのデータ受け取りが可能。料金の単価は合計枚数によって異なり、写本のPDF画像の場合、20枚以下は1枚あたり0.46€、21枚～200枚は0.36€、201枚以上は0.26€である。画像の場合はデータのサイズによってことなり1.8～50MBで1枚20€。その他の詳細については下記ページを参照。

[http://www.bnf.fr/fr/collections\\_et\\_services/reproductions\\_document/a\\_reproduction\\_document\\_tarifs.html](http://www.bnf.fr/fr/collections_et_services/reproductions_document/a_reproduction_document_tarifs.html)

#### 6. オンライン・サービス

フランス国立図書館は電子図書館化が進んでおり、HP（<http://www.bnf.fr/fr/acc/x.accueil.html>）上で様々なオンライン・サービスが利用できる。上述の写本の電子画像購入など複製サービスはオンラインでも申込可能（[http://www.bnf.fr/fr/collections\\_et\\_services/reproductions\\_document.html](http://www.bnf.fr/fr/collections_et_services/reproductions_document.html)）。写本については、図書館HP内（<http://archivesetmanuscripts.bnf.fr/cdc.html#>）で写本番号のほか各写本の著者・タイトル・推定年代など詳しいデータを見ることができる。また、一部写本は、Banque d'images というオンライン・データベースでカラー画像も見ることがもできる（<http://images.bnf.fr/jsp/index.jsp>）。ただし、ミニアチュールの細部やテキストは不鮮明である。

ほかにフランス国立図書館には Gallica（<http://gallica.bnf.fr/>）というオンライン蔵書検索がある。ここでは、一部書籍のPDF化された電子テキストをオンラインで閲覧可能である。フランス国立図書館以外に、大学図書館の蔵書を検索することができる Persee.fr というサイトもある（<http://persee.fr/web/guest/home>）。